

# 令和6年度 雀宮中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

### （1）基本目標

自主・自立の精神と豊かな心をもった，心身共に健康な児童を育成する。

### （2）具体目標

- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
- 進んで学びよく考える子ども（やる気）
- 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）

合言葉 「元気・やる気・思いやりのある 雀央っ子」

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校は，児童にとって安心かつ安全な場所，楽しく前向きなエネルギーをもった場所でなければならない。児童は，そのままの自分を受け入れてくれているという安心感の中で自己の存在感を感得し，互いに切磋琢磨して自己を成長させ，困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして，未来に向かって夢をもち，道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また，学校は，学びの面白さを実感できることなくしてはならない。児童は，主体的・対話的な学びを通して，分かる楽しさや自己の力の向上に気づいていく。

そのために，教職員が，常に前向きな姿勢で職務に取り組み，児童一人ひとりと向き合い，互いにチームとして支え合い，絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに，保護者や地域住民と連携し，信頼関係の下，共に子どもたちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）知・徳・体の調和を図りながら，社会に開かれた教育課程を編成して資質・能力を育み，教育目標の実現に努める。
- （2）児童がよさや可能性を発揮したり協働したりできる，行きがい・居がいのある学校づくりに努める。
- （3）職員が日々の研究と修養に努めることを推進するとともに，同僚性と自律性を基盤にした職場づくりに努める。
- （4）地域学校園内の小中学校との連携を深め，義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- （5）地域とともにある学校づくりを推進し，家庭・地域・関係機関との連携協力体制の強化に努める。
- （6）学校教育目標達成のために，業務の改善と勤務時間を意識した働き方の推進を行い，教職員の健康安全を大切にし，指導の質的向上に配慮しつつ持続可能な学校体制づくりに努める。

### 【雀宮中学校地域学校園教育ビジョン】

一人一人が自らのよさを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成  
～生き生きとした活動を通してつながる～

## 4 教育課程編成の方針

### (1) 基本方針

- ・ 児童の心身の発達段階の特性及び学校や地域の実態を考慮して編成を行う。特に地域の人的、物的な教育資源および環境を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園教育ビジョンを目指す教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。

### (2) 留意点

- ・ 各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・ 教科横断的な視点を持ち、各教科間または各教科の学習内容に関連する道徳科・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮するなど、カリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ・ インクルーシブ教育の充実に向け学校全体で特別支援教育を推進する。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### (1) 学校運営

- ・ 温かい人間関係の下、児童のよさが生かされる、行きがい・居がいのある学校を作る。
- ・ 家庭・地域と児童の育成について思いを一つにした信頼される学校作りを推進
- ・ 地域協議会や関係機関及び団体等と連携し、地域の教育資源を生かした活動や幅広い人材の活用を行う地域と共にある開かれた学校を作る。
- 地域学校園教育ビジョンを共有し、学びの連続性を意識した具体策の実行
- ・ 全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に答え合えるチーム作り
- ・ 業務の改善の視点の共有と勤務時間を意識した働き方の推進
- ・ 教職員と児童がゴールを共有して教育活動を展開する「雀央っ子が今年がんばること」の実施（年間3回PDCAサイクルの実行）

### (2) 学習指導：やる気

「学習意欲を高める授業」、「主体的・対話的に学び合う授業」、「学習内容が確実に定着する授業」づくりを工夫する。

- ・ ねらいが明確で、実生活に関わる教材の提供により学ぶ意欲がもてる授業
- ねらいを実現するため、協働的解決のための時間を確保し、対話的に学び合う授業
- ・ ねらいが実現されたかどうかを振り返り、適切に評価されている授業
- ・ 評価が次の授業改善に生かされ、確実に学習内容が定着していく授業
- ・ 教科横断的な視点に立ち、各教科で身に付けた資質・能力を活用・発揮できる授業

### (3) 児童生徒指導：思いやり

心の教育の充実ににより、自信や自己有用感、たくましさ、規範意識、思いやりなど、豊かな心を育む。

- ・ 自信や自己有用感の向上を図るための、認め・褒め・励ます指導
- ・ 不登校を生まないチーム支援の充実
- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するための多様な学びの場の提供
- ・ いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場の設定
- ・ 主体的に判断しインターネットを適切に使用できるようにする指導・支援の充実
- 教育活動全体を通じた「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実

### (4) 健康（体力・保健・食育・安全）：元気

生涯に渡って、心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。

- ・ 運動に親しみ、運動量を確保する活動の工夫
- ・ 健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力の育成
- 食事の重要性や栄養バランス等、望ましい食習慣の定着を図る指導の充実
- ・ 危険を予測し、自身の安全を守るための判断力や実践力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 児童が主体的に学習に取り組む手立てを, 全学級で行う。 (1)ねらいが明確で, 実生活に関わる教材の提供により, 学ぶ意欲がもてる授業の工夫 (2)ねらいの実現に向け, 協働的解決のための時間を確保し, 対話的に学び合う授業の工夫 (3) インターネットや図書等の資料の効果的な活用</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1043 472 1498 555"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.8</td> <td>100.0</td> <td>87.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は, 数値指標を上回り, 満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 具体的な取組を着実に実践していくとともに, 主体的に学習活動が取り組める教材や話し合いの工夫, ICT や図書の効果的な活用等を行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	89.8	100.0	87.6	
児童	教職員	保護者	地域住民									
89.8	100.0	87.6										
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	<p>A 2 児童は, 思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 道徳の時間の指導を要として, 思いやりのある豊かな心情を育成する。 2 縦割り班による児童会活動や清掃活動をはじめ, 異学年集団による活動を取り入れ, 上級生が下級生の面倒をみることを通して, 思いやりの心が醸成されるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1043 1066 1498 1149"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.7</td> <td>96.9</td> <td>95.2</td> <td>92.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護者・児童ともに, 肯定的回答は数値指標を大きく上回り, 十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 縦割り班活動や清掃活動など, 異学年集団での活動を充実させていく。また, 道徳の時間を通して, 思いやりの心を育む取組を継続して行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	92.7	96.9	95.2	92.3
児童	教職員	保護者	地域住民									
92.7	96.9	95.2	92.3									
	<p>A 3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 目標を立て, 自分自身を振り返ることができる活動を効果的に行う。 (1)各種検定表におけるめあて・振り返りの記入 (2)キャリアパスポートの活用 (3)委員会やクラブ活動の振り返りカードの活用 ○2 「100ます計算」や「漢字チャレンジデー」, 各種検定等に児童が各自の目標をもって取り組めるよう支援する。 3 学校で児童が粘り強く取り組んでいることを学校便りや学年便りを通して保護者に知らせる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1043 1626 1498 1709"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.5</td> <td>100.0</td> <td>80.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は数値指標を上回り, 満足できる結果となった。保護者も数値指標も達することができた。</p> <p>【次年度の方針】 宮・未来キャリアパスポートを活用して, 児童一人一人がめあてをもって行事に取り組んだり, 活動をふり返ったりできるようにしていく。また, 家庭にも児童の頑張り伝える場を積極的に設けていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	89.5	100.0	80.6	
児童	教職員	保護者	地域住民									
89.5	100.0	80.6										

<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施することにより、危険予測や危機を回避する意識の高揚を図る。 2 保健だよりや児童指導だより、食育だよりといった各種便りの配付により、健康や安全に関する意識を高める。 3 保健指導教材を活用し、各クラスにおいて発達段階に応じた指導を行い、感染症予防に対する意識を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.4</td> <td>96.9</td> <td>89.7</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員・保護者ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 B 普段からの声掛けや委員会の放送、各種便りの発行により指導・支援を継続してきたことで、健康や安全を意識した行動を主体的に取り組めるようになった。また、登下校時の安全に対する意識を高くもたせるために、年間を通して下校指導を行っていく。危険予測や危機を回避する意識を高めるために、避難訓練等、実践的な取組を行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	93.4	96.9	89.7	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
93.4	96.9	89.7	100.0								
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りとの協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童（生徒）は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団での課題を解決している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や総合的な学習の時間、道徳の授業の充実を図り、自己の成長に気付くとともに、友達や社会と進んで関わろうとする力の育成を図る。 2 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、夢や目標の実現意欲を高めたり、勤労観・職業観の育成を図ったりする。 3 委員会活動や学級の係活動や、学校行事等の様々な活動に、粘り強く取り組ませる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.0</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童・保護者ともに肯定的回答は数値指標を大きく上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 B 引き続き、生活科や総合的な学習の時間、道徳の授業の充実を図り、宮・未来キャリアパスポート等を効果的に活用しながら自己の成長や協力することの大切さに気付けるよう、指導を継続していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	90.0	100.0		
児童	教職員	保護者	地域住民								
90.0	100.0										
<p>2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進</p>	<p>A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動(英語)の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 教員とALTの打合せを綿密に行い、ALTを効果的に活用した授業が展開できるようにする。 2 ALTと日常的に触れ合える機会を増やす。 (1)各教室での給食 (2)清掃活動への参加 (3)休み時間等での触れ合い</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85.2</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 B 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、授業以外でもALTの活用や外国語に触れることができる場を設定していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	85.2	100.0		
児童	教職員	保護者	地域住民								
85.2	100.0										

	<p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、雀宮や宇都宮の良さを学べる授業を展開する。</p> <p>○2 「雀宮の日」に合わせて、地域でとれる農産物を多く使用した地域学校園統一献立を実施する。また、郷土に因んだ給食献立（宮っ子ランチ）を実施し、宇都宮でとれる農産物や歴史を紹介するなどして、宇都宮の食文化への興味関心を高め、郷土愛を育む。</p> <p>3 宇都宮の良さを理解できるように宇都宮学の年間指導計画に基づき、指導の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 165 1495 241"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.4</td> <td>93.8</td> <td>75.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。授業や校外学習等で体験的な学習を行うことを通して、宇都宮の良さが学べたと捉えることができる。</p> <p>【次年度の方針】 今後も学習内容の充実を図り、体験的な学習機会を設けていく。学習の取組状況や児童の振り返り等を各種の便りや学校ホームページ等で保護者に周知していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	88.4	93.8	75.7	
児童	教職員	保護者	地域住民								
88.4	93.8	75.7									
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 各教科の授業において、パソコンや実物投影機、プロジェクターなどを効果的に活用した授業を計画的に展開する。</p> <p>2 学校図書館司書や南図書館と連携を図り、学習に図書を活用できる環境を整える。</p> <p>3 プログラミング教育など、ICT機器を使用する学習を計画的に実施する。</p> <p>4 一人一台端末や図書等を使っていく中で、正しい情報を選択したり、適切に活用したりするなどの情報モラルの育成を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 730 1495 806"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.6</td> <td>96.9</td> <td>79.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。一人一台端末を効果的に活用していたと捉えることができる。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、学習への図書の利用を計画的に進めるとともに、不足している分類の図書を購入し、蔵書の充実を図っていく。また、ICT機器や図書等を効果的に活用し、学校での取組状況を学校便りや学年便り、図書便り等で保護者に周知していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	88.6	96.9	79.2	
児童	教職員	保護者	地域住民								
88.6	96.9	79.2									
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 社会科や家庭科、総合的な学習の時間、委員会活動の指導を通し、SDGs等、環境問題への意識を高める。</p> <p>2 火災や竜巻などの避難訓練の事前指導を通して、防災意識を高める。</p> <p>3 小学校段階での「持続可能な社会」を目指すための課題について確認し、児童の発達段階に応じた指導を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1046 1326 1495 1402"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.9</td> <td>71.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A</p> <p>教職員の肯定的回答は数値指標よりも下回った。</p> <p>【次年度の方針】 小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、実践を伴った活動を取り入れていく。各教科で環境問題を意識して扱う場を設定していく。児童が学校生活で行っている活動（節電・節水、ごみの分別、牛乳パックのリサイクル等）も持続可能な社会の実現のための取組であることを知らせ、児童とともに取り組んでいく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	90.9	71.9		
児童	教職員	保護者	地域住民								
90.9	71.9										

3-(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 <b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 児童指導委員会などの機会を通して教職員間の情報共有を図り、校内支援委員会などの機会を活用して指導の方向性を明確にし、教職員が同一の歩調で支援できるようにする。 2 外部の関係機関との連携を密接に行っていく。 3 個別の支援計画や個別の指導計画をもとに各児童の実態に応じた指導の充実を図る。	【達成状況】				
			児童	教職員	保護者	地域住民	
			100.0			B 教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 <b>【次年度の方針】</b> 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。	
3-(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であること を指導している。 <b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	1 全校体制による組織的ないじめ防止策の推進を図る。 (1)いじめゼロ強調月間での取組 (2)学校だより・学年だより・児童指導だより等を活用したいじめ撲滅推進のための各種取組の積極的な発信 (3)学校生活アンケートによる「いじめ」の早期発見・早期対応	【達成状況】				
			児童	教職員	保護者	地域住民	
			97.0	100.0	85.1	84.6	B 児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 <b>【次年度の方針】</b> 今年度同様、いじめゼロ強調月間では、教職員の発信だけでなく、児童主体の取組を積極的に取り入れ、自分事として考えられるようにしていく。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 <b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	○1児童のよさを認め、称賛したり励ましたりする指導を心がけることで、児童の自己肯定感を高める。 2 児童全員との教育相談期間「おしゃべりタイム」を実施する。 3 校内支援委員会を随時開催する。	【達成状況】				
			児童	教職員	保護者	地域住民	
			95.2	100.0	91.3	B 児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 <b>【次年度の方針】</b> 次年度も継続して、居心地のよい学級づくり（自己表現ワークや構成的グループエンカウンター）・ピカイチカードを実践して、自己肯定感・自己有用感を高めていく。	
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 <b>【数値指標】</b> 全体アンケート 「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童生徒が明るくいいきと学校生活を送れるようにしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 「学校行事等において、様々な立場の児童が、互いを尊重し合って活動を行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	1 学年・学級経営計画に基づいた、意図的・計画的な指導を通して、明るく、一人一人を大切にす学級づくりを目指す。 (1)雀央スタンダードの活用 (2)Q-U 検査の効果的な活用 (3)共遊の時間（ロング昼休み）の実施 (4)係活動など自発的な活動の実施 2 児童の自己肯定感や自己有用感を高めるために、ピカイチカードを積極的に活用する。 3 児童会活動や学校行事の工夫・改善を通して、児童の主体的な活動の場を確保し、楽しく、活気あふれる学校づくりを目指す。 (1)縦割り班活動の工夫・改善 (2)行事運営への児童の参加促進 (3)各種たよりやホームページ等による情報発信	【達成状況】				
			児童	教職員	保護者	地域住民	
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			97.0	100.0	89.1	92.3	B 保護者の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。地域住民の肯定的回答は、数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。 <b>【次年度の方針】</b> 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、一人一人が活躍できる場を設定し、「いがいのある学校」づくりを目指す。特に、児童主体の活動の場の確保や外遊びを推奨し、明るく生き生きとした児童の育成を目指す。

4-(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやす く、一人一人に丁寧に教え てくれる。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「教職員は、児童一人一人が 理解できるように教材を工夫 するなど、きめ細かな指導 をしている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	1 確かな学力を身に付けさせるた めの分かる授業作りを推進する。 (1)ねらいとねらいを実現するための 手立てが明確な授業、適切な評価 と評価が生かされた授業 (2)研究授業や一人一授業の計画的な 実践による指導方法の改善 2 児童一人一人の学習状況を的確 に把握し、個に応じたきめ細かな 指導を充実させる。 (1)習熟度別学習や少人数指導、TT など指導体制の工夫 (2)かがやきルームを活用した個別指 導の充実 (3)個に応じた教材の開発・活用	【達成状況】					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.6</td> <td>100.0</td> <td>88.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>児童、保護者ともに肯定的回答は数 値指標を上回り、満足できる結果とな った。</p> <p>B 【次年度の方針】 引き続き、児童一人一人に寄り添い ながら個に応じた具体的な取組を着実 に実践していく。研究授業や一人一授 業により教師の指導力を高め、教材開 発と活用を目指していく。また、個別 指導の充実や指導体制の工夫をさらに 進めていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	96.6
児童	教職員	保護者	地域住民					
96.6	100.0	88.5						
4-(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる職員全員がチ ームとなり、協力して業務 に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 情報の共有・状況の共有を積極 的に図り「チーム雀央小」の一員 であることをより自覚できるよう にする。 (1)打合せ用紙の配付による毎朝の連 絡 (2)ミニ支援委員会・ミニ対策会議の 実施	【達成状況】					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>96.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大 きく上回り、十分満足できる結果とな った。</p> <p>B 【次年度の方針】 引き続き、情報の共有や状況の共有 を積極的に図り、同一步調で教育活動 を展開できるようにする。また、「チ ーム雀央」として、全員が一丸となるよ う、意識付けを行っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
	96.9							
4-(3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A16 勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組ん でいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、教職員の勤務時間を 意識して、業務の効率化に 取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	1 各自が出退勤記録を打刻するこ とや、退勤目標時刻を職員室に表 示したり、毎月リフレッシュデー を設定したりすることで、効率的 な業務遂行及び勤務時間管理の意 識化を図る。 2 教職員の負担軽減に向け、前例 にとらわれず、スクラップ&フォ ーカスを進める。	【達成状況】					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>75.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員の肯定的回答は数値指標に達 するまでには至らなかった。</p> <p>A 【次年度の方針】 適正な勤務時間に向けた計画的・効 率的な業務の在り方を意識させるとと もに、斬新なアイデアを求め、具体 的な取組を行っていく。意識改革と業 務の改善の双方から推進していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	
児童	教職員	保護者	地域住民					
	75.0							
5-(1) 全市的な学 校運営・教 育活動の充 実	A17 学校は、「小中一貫教 育・地域学校園」の取組 を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、地域学校園の小学 生や中学生、先生と、授業 や行事、掲示物などで交流 する活動を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「学校は、小学校と中学校連 携した「小中一貫教育・地 域学校園」の取組を行って いる。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	○1地域学校園による「小中一貫教 育実施計画」に基づき、中学校と の円滑な交流を推進していく。 (1)全体会・各部会・分科会実施 (2)地域学校園「あいさつ運動」(年 2回) (3)「宮っ子チャレンジウィーク」受 け入れ(中学生職業体験) (4)地域学校園内小中合同による南図 書館清掃 (5)小中一貫の「体育検定」活用 2 取組について児童、保護者、地 域へ積極的に情報発信を行う。 3 小中一貫便りを本校で作成し (10月・3月)さくら連絡網で保 護者に配付する。	【達成状況】					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.1</td> <td>87.5</td> <td>80.3</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童の肯定的回答は数値指標を大き く上回り、十分満足できる結果とな った。保護者の肯定的回答も、数値指標 を超えることができた。</p> <p>B 【次年度の方針】 雀宮地域学校園としての実施計画に 基づき、具体的な取組を着実に実践し ていく。乗り入れ授業の時期を見直す とともに、小中一貫の活動であることを 各種便りや学校ホームページ等で発 信していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	93.1
児童	教職員	保護者	地域住民					
93.1	87.5	80.3	100.0					

<p>5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 地域協議会を通して授業ボランティアを募集したり、予め学校ボランティアを登録しておいたりする。</p> <p>2 企業や専門家による各種出前授業等を計画的に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>100.0</td> <td>89.5</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>教職員の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、地域密着型の行事や、外部と連携した学習活動の意義・効果を学校ホームページ等で内外にアピールしていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	91.4	100.0	89.5	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
91.4	100.0	89.5	100.0								
<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 月例の安全点検により、危険箇所の早期把握・早期対応に努める。</p> <p>2 保護者や利用者へ利用時の注意喚起、危険箇所の表示、AED設置場所、災害時避難方法等の危機対応に関する情報を提供する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/</td> <td>100.0</td> <td>89.8</td> <td>84.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>保護者の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の取り組みを継続していくとともに、危機対応や衛生面に関する情報発信を強化していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	/	100.0	89.8	84.6
児童	教職員	保護者	地域住民								
/	100.0	89.8	84.6								
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタル※を積極的に活用している。」 ※デジタル…一人一台端末、学校用グループウェア、校務支援システム、デジタル連絡ツールなど ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 全教職員が使用できるクラスルームや授業支援クラウドを積極的に活用して、各教科の授業で使用した教材を共有する。</p> <p>2 各学級の他、クラブ活動や委員会活動でもクラスルームを活用して児童への連絡の伝達・共有を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/</td> <td>100.0</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回っており、十分満足できる結果となった。全校体制でGIGAスクール構想実現に取り組み、一人一台端末を活用した学習を展開した成果と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 一人一台端末の効果的な活用をより一層推進し、学習活動を充実させていくとともに、データの共有や各種アンケート等にも活用していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	/	100.0	/	/
児童	教職員	保護者	地域住民								
/	100.0	/	/								
<p>小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等</p>	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>○1 児童会活動を中心に地域と連携し、あいさつ運動の積極的な推進を図るとともに、取組を発信していく。</p> <p>(1) 年2回の地域学校園あいさつ週間の取組の充実 (2) 児童会、あいさつ隊によるあいさつ運動の展開 (3) 教師の率先垂範による日常的なあいさつ指導の推進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.1</td> <td>100.0</td> <td>85.7</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童の肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。保護者の肯定的回答は数値指標を上回り、満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 家庭や地域への挨拶の仕方等を、学級の指導を中心に具体的に指導するとともに、学級懇談や個人懇談で挨拶の話題を出して啓発していく。また、各種便りで保護者に周知していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	96.1	100.0	85.7	100.0
児童	教職員	保護者	地域住民								
96.1	100.0	85.7	100.0								

<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、きまりやマナーを守って生活をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 基本的な生活習慣育成の徹底を図るとともに、規範意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>(1)「雀央スタンダード」「生活のきまり」に基づいた全校体制による指導の徹底 (2) 生活目標の設定による、目標を焦点化した指導の展開 (3)学級活動や道徳の授業の充実、規範意識の向上</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.1</td> <td>100.0</td> <td>92.3</td> <td>84.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童・教職員ともに、肯定的回答は数値指標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、時代の変化に応じて、柔軟に「雀央スタンダード」「雀央小のきまり」「生活目標」を見直し、適切に実施していく。また、学級活動や道徳の授業（内容項目「規則の尊重」）の充実を更に図っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	94.1	100.0	92.3	84.6
児童	教職員	保護者	地域住民							
94.1	100.0	92.3	84.6							
<p>B3 児童は宿題や自主学習を行う学習習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「児童は、宿題や自主学習などを行う学習習慣が身に付いている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央スタンダードや家庭学習の手引きを活用し、児童の発達段階を踏まえた家庭学習の推進を図る。</p> <p>2 家庭学習強化週間を7月と12月に実施して、家庭学習アンケートと振り返りカードを活用して確認したり、励ましたりして学習習慣の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.4</td> <td>96.9</td> <td>79.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>教職員の肯定的回答は数値目標を大きく上回り、十分満足な結果となったが、保護者の肯定的回答は数値指標を下回り、不十分な結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していく。また、家庭学習強化週間の取組を充実させていくとともに、保護者への周知徹底を図りながら連携を強化していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	91.4	96.9	79.7	
児童	教職員	保護者	地域住民							
91.4	96.9	79.7								
<p>B4 児童は、食事の時のマナーをしっかり守っている。(学校園共通)</p> <p>【数値指標】 学校園共通アンケート 「わたしは、食事の時のマナーをしっかり守っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上 「児童は、食事の時のマナーをしっかり守っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 雀央つ子がんばることや食育の指導計画に基づいた意図的な指導を通して児童の食事のマナー向上を目指す。</p> <p>(1)給食時の巡回指導における食事のマナーの指導（食器や箸の持ち方、姿勢、等） (2)食育マナー週間（6月、11月）でのチェックリストの活用及び食事マナーの向上 (3)食育だよりやホームページによる学校での取組の情報発信及び家庭での取組の促進</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.6</td> <td>93.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>児童・教職員ともに肯定的回答は数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、食育や食事のマナーについての取組を行っていく。また、取組内容について、進んで情報発信していく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民	93.6	93.8		
児童	教職員	保護者	地域住民							
93.6	93.8									
<p>B5 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。</p> <p>【数値指標】 学校独自アンケート 「教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>1 校内研修の活性化を図る。</p> <p>(1)一人一授業の実践 (2)小グループでの協議を取り入れた授業研究会の実施</p> <p>2 外部研修への参加奨励</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>児童</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>地域住民</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>B</p> <p>教職員ともに肯定的回答は数値目標を大きく上回り、十分満足できる結果となった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、具体的な取組を着実に実践していくとともに、研修での学びの共有を図っていく。</p>	児童	教職員	保護者	地域住民		100.0		
児童	教職員	保護者	地域住民							
	100.0									

## 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

### 【成果】

25の評価項目中、23項目で肯定的回答が数値指標を上回ったことから、本市が目指す「児童の姿」「学校の姿」について、おおむね適切な取組が行えたと考える。中でも、次の13項目は全評価対象者とも、90%超の肯定的回答となり、十分満足できる結果となった。（Aは本市共通の評価項目、Bは本校独自の評価項目）

- ・ A 2 児童は、思いやりの心をもっている。
- ・ A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。
- ・ A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。
- ・ A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。
- ・ A 11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
- ・ A 12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。
- ・ A 14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。
- ・ A 15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
- ・ A 18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。
- ・ A 20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。
- ・ B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。
- ・ B 4 児童は、食事の時のマナーをしつかり守っている。（学校園共通）
- ・ B 5 教職員は、資質・能力の向上のため、進んで研鑽している。

また、次の5項目については、肯定的回答が89%を超えている。

- ・ A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。
- ・ A 3 児童は、巨標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。
- ・ A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
- ・ A 13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。
- ・ A 19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。

この結果から、教職員の指導や支援、保護者や地域の方々の声掛け等により、児童は概ねきまりやマナーを守って生活している。また、異学年集団での活動の充実や道徳の時間の活用、いじめゼロ強靱洞間や教育相談の実施、個に応じた指導等を通して、豊かな心が育ってきている。今後も、児童が居がいをもち、いじめや不登校がない学校にしていきたい。学習面においても生活面においても、引き続き、保護者や地域の方々の理解や協力を得ながら、指導の充実を図り、児童の力を伸ばしていきたい。

### 【課題】

25の評価項目中、2項目の肯定的回答が、昨年に引き続き数値指標を下回った。これらの項目については、全教職員で改善策を検討するとともに、確実に実施して、肯定的回答が数値指標を上回るようにする。

- ・ A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
- ・ A 16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。

特に、A3に関しては、小学校段階における「持続可能な社会」についての指導を確認し、実践を伴った活動を取り入れるなど、児童の持続可能な社会についての意識を高めていきたい。A16に関しては、さらに、業務の効率化や出退勤時刻の自己管理等、教職員一人一人の意識改革や行事等の縮減・簡素化、業務の均等化・DX化等の業務改善の双方から働き方改革を推進していく。

## 7 学校関係者評価

- ・ 学校評価書の数値の変動については、あまり気にしなくてよい。自然体で指導・支援を行ってほしい。
- ・ A11「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」、A12「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」に関して、いじめ・不登校撲滅に向けて、引き続き指導・支援をしてほしい。
- ・ A16「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」に関して、いきなり働き方改革というのではなく、徐々に行っていくことでよいのではないかと。子供たちの活動を保証し、子供のことを第一に考えることが大切である。
- ・ B1「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」に関して、自ら進んで元気に挨拶をしている子供たちも多いが、挨拶の言葉を掛けても返ってこない子供も見られる。挨拶ができるよう、さらなる指導をお願いしたい。
- ・ B3「児童は宿題や自主学習を行う学習習慣が身に付いている。」に関して、放課後児童クラブ（げんきっ子クラブ）では、子供たちは、集中して学習している。よくやっていると思う。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

児童・教職員が、保護者や地域の支援・助言を受けながら、児童と向き合い、真摯に取り組んできたことで、保護者や地域の方々に一定の理解が得られ、多くの項目で数値指標を達成することができたと思う。保護者に対するアンケートに関しても、回答率が70%を超えており、学校に対する関心の高さもうかがえる。学校運営に関して、良いところはさらに伸ばし、課題に対しては改善策を検討し、実施していくことで、今後も学校への期待に応えていきたい。

また、業務の効率化・働き方改革については、来年度に向けてさらなる業務改善と意識改革を行い、教職員がゆとりをもって児童と向き合うことで、児童がもてる力を十分に発揮し、生き生きとした姿が見られるようにしていきたい。